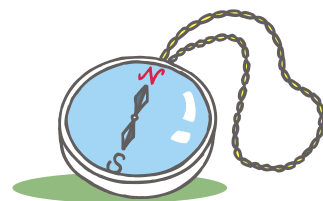


羅 針 盤

第**30**号

令和5年12月22日（金）



◆ 「あきらめないこと」

日本の登山家で著名な植村直己という人を皆さんは知っていますか。彼の言葉に、「あきらめないこと。どんな事態に直面してもあきらめないこと。結局、私のしたことは、それだけのことだったのかもしれない。」があります。世界的な大流行となった新型コロナウイルス感染症によって、生活形態までが様変わりしたと言われてからすでに4年が経過しようとしています。そのような中でも、「あきらめないこと」や「あきらめてはいけないこと」もたくさんあったはずです。年が明けるといよいよ卒業まで2か月余りとなる3年生の皆さんには、特に「あきらめない」という気持ちを持ち続けて、自分が望む進路に向けて、着実に進んでいてもらいたいと思います。また、今年の漢字には私たちの生活に直結している「増税」や「減税」の動向が注目された一年であったことから「税」が選ばれましたが、国民の不安や期待が錯綜した一年であったと言わざるを得ないでしょう。来年は、国民の不安といったものが払拭される一年であることを願うばかりです。登山家の植村直己さんと同じく日本の登山家でもあり、冒険家でもある三浦雄一郎さんは、「夢があるから頑張れた。」と言っています。「夢」を持つということ、それは本当に大事なことです。

「夢」が「現実」となるように、努力すること、結果として「現実」とならないことがあるのも事実ではありますが、「夢」の実現に向けて頑張りを続けたことは、決して無駄にはなりません。以前にもお伝えしたことがあるように、「焦らず」、「慌てず」、「諦めず」に、地に足をつけて努力を積み重ねることが何よりも大切であることに気づいて、自分自身の努力が確かなものとして認められる人へと成長してもらいたいと思います。



◆ 「あ・ひ・る」の約束

年度初めから、繰り返し生徒の皆さんに伝えてきた、【あ】挨拶をすること、【ひ】人の話を聴くこと、【る】ルール（学校のきまり）を守ることといった、日常生活では当たり前でできてほしいことについては、挨拶については“自発的に”、人の話を聴くことは“最後まで”、そして、“しっかりと”ルールを守ることと捉えることで、「自発的に」そして「最後まで」といったことまでより一層意識して取り組んでももらいたいと思います。生徒の皆さん一人ひとりが「しっかりと」意識して行動することで、学校生活に限ることなく気持ち良く一日一日を過ごすことができ、充実した時間を過ごすことができるはずです。

明日より冬季休業期間に入ります。新たな年を迎える冬休みではありますが、ご家庭でも、健康には十分な注意を払いながら、子どもたちが規則正しい生活を過ごせますよう、ご指導をお願いいたします。また、3学期も引き続き、城陽中学校の全ての子どもたちのために、よりよい教育活動を展開して参りますので、ご理解とご協力を賜りますよう、重ねてよろしくお願いいたします。（校長 坂井伸治）

